

学校検尿についてご存知ですか？

小児科医長 加賀田 敬郎

腎臓が悪い、ってどのような状態でしょうか？おしっこが出なくなる？体がむくむ？しんどくなる？熱が出る？・・・色々な症状を想像されると思いますが、腎臓の病気はなかなか自覚症状がありません。目に見えて具合が悪くなった時には、腎臓の働きは相当悪くなってしまっています。では、腎臓病を早期発見するにはどうすれば良いか、答えの1つが学校検尿です。

学校検尿は、1973年に学校保健法で定められ、翌1974年から小中学生を対象に全国で一斉に開始されました。学校検尿が始まったことで、小児期や成人期の糸球体腎炎による末期腎不全が大きく減ったといわれています。

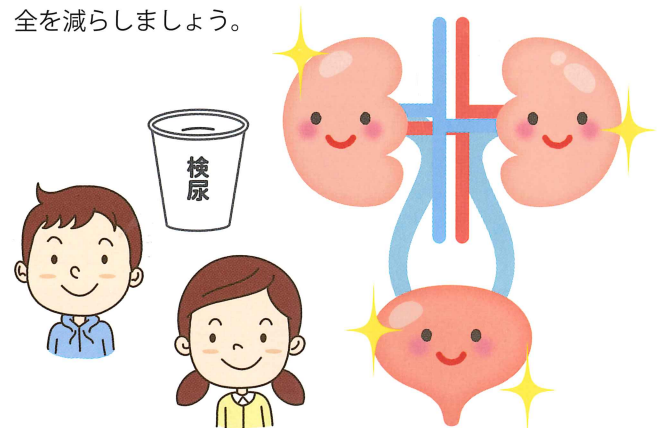
そんな歴史のある学校検尿ではありますが、現在におけるまで学校検尿の方法・取り組み方は自治体によって様々です。

西条市では、これまでは学校で検尿を1回行い(1次検尿)、異常があれば医療機関を受診するようになっていました。これでは、本来は病気ではない人まで引っかかってしまう(偽陽性)確率が高くなり、また、医療機関を受診しないまま放置する人が多くなってしまい、結果として腎臓病の早期発見ができなくなる可能性があります。そのため、2017年からは学校で2回まで検尿を行い(2次検尿)、不必要な医療機関受診を減らし、かつ本当に医療機関への受診が必要な人たちを見つける取り組みが開始されました。

2次検尿まで行うことで、医療機関への受診が必要な小児は大体1%以下になると言われています。西条市全体の小児人口で見ても、決して多い人数ではありません。もちろん、2次検尿までひっかかったから病気、ではありません。その中のさらに一部に腎臓病の子供たちが隠れています。

小児の腎臓病は多くはありませんが、末期腎不全になってしまうと現在の医療では透析・移植しか手段はありません。そうすると、大人になったときに仕事や生活の上でのQOLが損なわれてしまいます。

これから学校検尿が始まる時期になります。学校検尿をしっかり行うことで、もし2次検尿までひっかかった場合にはちゃんと医療機関を受診することで、予防し得る腎不全を減らしましょう。



西条中央病院基本理念

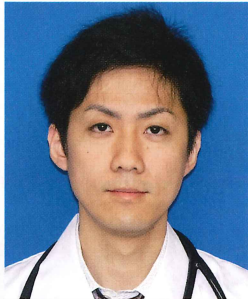
西条中央病院は地域社会への奉仕の精神に基づき、生命の尊厳と人間愛を尊重し、親しまれ信頼される医療を提供します。

行動指針

1. 私達は患者さん中心の医療を提供いたします。
2. 私達は常に医療水準の向上に努めます。
3. 私達は思いやりと同心協力の心を大切にします。
4. 私達は患者さんの持つ権利を尊重します。
5. 私達は開かれた医療を進めます。

新任医師紹介

①氏名(ふりがな) ②診療科 ③卒業年 ④コメント



- ①宮崎 慈大 (みやざき しげひろ)
②循環器内科 ③平成25年
④4月より勤務させていただくことになりました宮崎慈大と申します。西条市下島山(東中校区)出身です。医学部に入学した当初から、「いつかは西条で医療を」と思い続けてきましたが、宇和島、別府を経てようやく地元に戻ってくることができました。若輩者ではありますが、西条の医療に少しでも貢献できるよう頑張っておりますのでよろしくお願い致します。気軽に声をかけてもらえると嬉しいです。



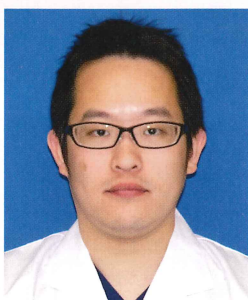
- ①佐藤 元通 (さとう もとみち)
②外科
③昭和54年
④2019年4月より勤務させて頂く事になりました外科の佐藤です。消化器、甲状腺、乳腺を担当します。当院の小野副院長、松野先生、愛媛大学外科チームと共に、地域の先生方と協力して、西条市の外科医療に取り組みたいと考えております。何卒宜しくお願い致します。



- ①加賀田 敬郎 (かがた けいろう)
②小児科
③平成20年
④平成31年1月から勤務させて頂くことになりました、小児科の加賀田敬郎と申します。12月まで約2年間、愛知県で小児腎疾患を専門に研修していました。一般小児疾患はもちろんですが、小児腎・泌尿器疾患で何かありましたら、ご相談頂ければ幸いです。宜しくお願い致します。



- ①三浦 博充 (みうら ひろみつ)
②小児科
③平成25年
④西条地域の子どもたちのために精一杯頑張りたいと思いますので、宜しくお願い致します。



- ①三好 翔太 (みよし しょうた)
②基幹型研修医 ③平成31年
④はじめまして。この度4月から臨床研修医として勤務させて頂く、三好 翔太と申します。出身は岡山ですが、何故か知り合い・友人の多い西条にて2年間勤務させて頂くことができ、非常に光栄です。まだ右も左も分からない1年生ですが、大好きな西条の医療に少しでも貢献できるよう頑張りますので、何卒宜しくお願い致します。

創立65周年記念式

創立65周年を記念して、平成31年4月26日(金)に、「西条中央病院創立記念式典」を行いました。翌日の平成31年4月27日(土)には「創立65周年記念講演会」として、高田泰治院長による「65周年の歩み」や特別講師として愛媛県立中央病院 副院長 風谷幸男先生による「循環器内科医として歩んだ40年ー循環器診療の進歩と今後の展望ー」と題してご講演頂き、記念式を執り行うことが出来ました。



部署紹介

臨床研修

平成28年から基幹型臨床研修病院として初期臨床研修医を受け入れています。平成30年に2名、平成31年に2名の研修医が初期研修を修了しました。

今年4月より1名の初期研修医が加わり、プログラム責任者の小野副院長のもと研修2年目医師3名、1年目医師1名、事務員3名で構成されています。

研修医1名に対して指導医1名のマンツーマン指導体制をとり、研修医が初期研修を無事修了し、後期専門医研修へ移行できるようバックアップしています。



緩和ケア認定看護師の役割

緩和ケア認定看護師 吉田 晴香

皆様こんにちは、緩和ケア認定看護師の吉田晴香です。普段は外来業務に従事し、認定活動としては患者さんやご家族、医療者からの相談に対する対応や面談をさせて頂いています。緩和ケア認定看護師の役割は専門的知識を用いて、身体・社会・精神的・スピリチュアルな側面を客観的に見て、その苦しみを和らげることです。そして、患者さんの“私ならできる感”を高めることで、その方らしく生きることができるように最期まで支えることです。

がんは国民病となり2人に1人が、がん罹患者という時代となっています。わが国でもがん対策基本法のもと、2018年3月に第3次がん対策推進基本計画が見直され、「がん患者を含めた国民が、がんを知りがんの克服を目指す」という目標を掲げました。

当院では多職種で構成する“緩和ケアチーム”が活動しています。そこでは、心身のつらさへのケアや療養場所の変更に向けた社会資源の活用等についての検討や、緩和ケアの質の向上のための勉強会を行っています。他にも、リハビリスタッフと構成する“がんリハビリチーム”では、患者さんやご家族の希望に応じて、日常生活機能の維持・向上や日常生活や外出泊の支援を行っています。

世界保健機関では、緩和ケアの対象は「生命を脅かす病に関連する問題に直面している患者とその家族」と明記さ

れています。これは、緩和ケアはがんだけでなく慢性心不全や呼吸不全、腎不全、神経難病等を含み、非がん患者へのケアも重要であるという



ことです。しかし、がん患者に対するケアが非がん患者にもすべて有効というわけではありません。ですから、まず患者さん・ご家族の気持ちに寄り添い、苦しみや不安に理解を示すことからケアを始めます。

最後に皆様は、約50年前に英国でホスピス（人生の最終段階にある患者さんの心身の苦しみを和らげることを目的とした病院や療養所）を創設したシシリー・ソンドースという方をご存知でしょうか。「あなたはあなたのままで大切なのです。あなたは人生最後の瞬間まで大切な人です。ですから、私たちはあなたが心から安らかに死を迎えられるだけでなく、最後まで精一杯生きられるよう最善を尽くします」という言葉があります。私は2年前にこの言葉に出会い、人間個々の尊厳を尊重し、最期の時まで“生に焦点”を当てるのが大切だという教訓に心が震えたことを今でも覚えています。これからも、この気持ちを忘れず、認定看護師として自己研鑽をし、多職種とともに安全・安心な医療の提供を目指す所存です。

平成31年度 新入職員紹介



医 師	…	2名
基幹型臨床研修医	…	1名
看 護 師	…	13名
准 看 護 師	…	1名
ケ ア ス タ ッ プ	…	2名
診 療 放 射 線 技 師	…	1名
臨 床 工 学 技 師	…	2名
理 学 療 法 士	…	1名
作 業 療 法 士	…	1名
言 語 聴 覚 士	…	1名
事 務 員	…	1名

日本医療機能評価機構認定

西条中央病院

〒793-0027 西条市朔日市804番地
TEL (0897) 56-0300 FAX (0897) 56-0301
<http://www.saijo-c-hospital.jp/>

診療科目 内科・循環器内科・小児科・外科・整形外科・産婦人科・眼科
放射線科・リハビリテーション科・歯科・皮膚科・脳外科・泌尿器科
耳鼻咽喉科(休止中)・麻酔科(麻酔医 葛川洋介)

関連施設 血液透析センター・健康管理センター
通所リハビリテーション・居宅介護支援事業所・ついたちの里

病床種別 一般240床(うち地域包括ケア57・障害者93)感染症2床

当院までのご案内

